

避難指示・勧告の見直しを求む



高橋茂樹



町長

降雨・水位情報基に早めに発令する

質問 新型コロナウイルスの感染防止対策を考えた避難所計画は。

町長 新型コロナウイルスの感染防止には、3密を避けることが最も有効とされているが、災害発生時の避難所においては3密を避けることは困難を極めることとなり、クラスター発生のリスクが高い状態となる。

避難所における感染拡大を防ぐ観点からも、安全な場所に住んでいる場合には避難所へ行く必要がないことや、安全な場所に住んでいる親戚・知人宅も避難先となり得ることの理解を促していきたい。町の指定避難所等に避難する場合はマスクの着用等をお願いする。また、3密を避けた避難所のレイアウトの見直しを行う考えである。

質問 避難指示、避難勧告の見直し対策を。

町長 気象庁及び国土交通省、群馬県が発表する

降雨及び水位の予報、上流の水位上昇を勘案した上で、安全な避難行動のため、暗くなる前に避難情報を発令したいと考えている。

質問 台風19号の浸水被害地域に対する対策は。

町長 五料の矢川流末の水路開渠部分に大型土のうを設置する。

質問 大型土のうを設置すると内水の排水を堰き止めるおそれがある。そこで、大型排水ポンプ設置の考えはあるか。



排水ポンプ車

副町長 排水機場やポンプ車の設置は費用や維持管理面でハードルが高いと考えている。

質問 災害ごみの処理対策は。

町長 町有公園を中心に災害廃棄物仮置き場を65か所設定している。さらに災害種類ごとの処理対応を定めるため、現在、玉村町災害廃棄物処理計画の策定に取り組んでいる。

五料防災公園計画は

質問 五料防災公園計画についてはどうか。

町長 災害時に一時的に避難できるような防災的な役割を持つ公園については、重要な施設であると認識しており、引き続き、次期マスタープランへの位置づけを検討していく考えである。

こんな質問もしています
新型コロナウイルスの影響について

コロナ禍での児童虐待防止策は



久保留美子



町長

電話・訪問による見守り支援を実施

質問 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、DVや児童虐待の深刻化が懸念されている。見守りや支援など具体的な取組は。

町長 臨時休業中の小中学校では、1週間に1度程度は電話等で連絡を取り、確認を行っている。登園自粛期間中の保育所等では、要支援の家庭に随時電話や訪問等を実施し、未就園児についても、保健センターと協力し、要支援の家庭に電話や訪問等を実施し、児童の確認や支援を行っている。

今後も、学校や保育所、保健センター、児童相談所等と協力しながら児童虐待防止に取り組んでいく。

ICT教育における取り組みと家庭への支援は

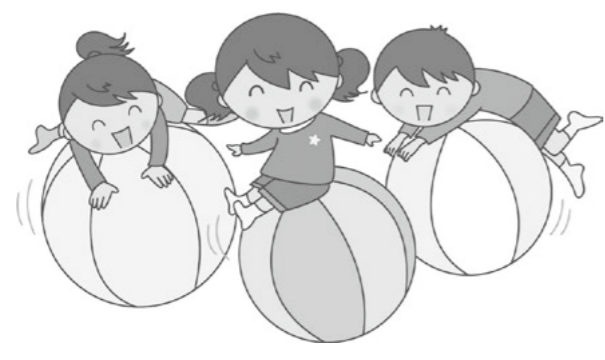
質問 コロナ禍でのICT教育における家庭に対する支援は。

教育長 臨時休業中の家庭学習を支援するため、教育委員会が作成した「たまむら家庭学習支援サイト」を町のホームページに掲載し、各家庭にはメール配信で周知し活用を促した。加えて、独自の学習動画を作成した学校もあり、メール等により家庭に配信し、学校で配布した学習課題への取組を支援した。

質問 経済的理由によりインターネット環境が整えられない家庭に対する支援策は。

教育長 学校のタブレット端末を貸し出し、家庭で使用する通信費等を補助する、無料で接続できる拠点を整備するなどの支援があるが、最も現実的な方法としては、学校の環境を利用することだと考える。

家庭にインターネット環境がなくオンライン学習が進められない子供に対し、学校で利用できる日時を設定し、密集を避け



子供たちの未来のために

※1「GIGAスクール構想とは」7ページ参照